

武士の政権の成立

院政と武士

白河上皇を警備する武官



白河上皇 と 僧兵



白河上皇は「賀茂川の水 双六のさい、山法師(延暦寺の僧兵)、これだけが思い通りに行かない」となげいた。

保元の乱の対立関係

●保元の乱 1156(保元元年)年

天皇家 後白河 (弟)	藤原氏 関白 忠通 (兄)	平氏 清盛 (甥)	源氏 義朝 (子,兄)
天皇方	藤原方	平氏方	源氏方
×	×	×	×
崇徳 (兄)	左大臣 頼長 (弟)	忠正 (叔父)	義朝 (父) 頼朝 (弟)
上皇方	上皇方	上皇方	上皇方

教科書 p.68

平治の乱



平清盛が都を留守にしたときに、藤原信頼・源義朝が後白河上皇の御所を襲い、平治の乱が始まる。

1159年12月

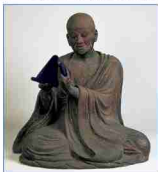
平治の乱の結果 平清盛が勝つ

●平治の乱 1159(平治元年)年

藤原氏 通憲	平氏 清盛
×	×
源氏 義朝・頼朝	
勝	負

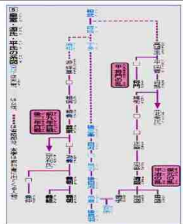
教科書 p.68

平清盛 武士で初の太政大臣に



六波羅宮蔵 蔵

皇室・ 源氏・ 平氏の系図



教科書p.67

清盛は日宋貿易で利益を上げる



貿易港として「大輪田泊」(現、兵庫港)を整備した。

厳島(いつくしま)神社



宮島(広島県)に建て、
日宋貿易の航海の安全
を祈願した



源平の争乱

